

成果公開制度について

公益財団法人高輝度光科学研究センター
利用推進部

成果公開に関する制度が改定され、その運用が始まって7年、SPring-8/SACLA 利用研究成果集が発刊されてから5年が経過しようとしています。この間、SPring-8/SACLA 成果審査委員会では、いろいろな問題に対応しながら、成果の認定と制度の整備を行ってきています。

ユーザーからは、この公開制度の改定により、チャレンジングな課題を提案しにくくなっているのではないか、という声も聞こえてきています。

今回、SPring-8/SACLA 成果審査委員会の坂田誠委員長、SPring-8/SACLA 利用研究成果集の野田健治編集者に原稿を執筆していただき、ユーザーのチャレンジングな課題提案を encourage していただくとともに、固まってきた制度の形を説明していただくことにしました。

是非ご一読いただき、SPring-8/SACLA からの成果がますます出てくることを期待しております。